

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標	
～誇り～（学校や自分に自信を持ち、生きる力を育みます。） 確立（学力や体力など確かな力を身につけ、自主自律を育みます。）〔知・体〕 共生（思いやりを持ち、自他を尊重する豊かな心を育みます。）〔徳・公〕 飛翔（夢を持ち、未来を切り拓く力を育みます。）〔開〕	
教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	
〈言語能力〉 〈自分づくりに関する力〉 〈持続可能な社会の創造に貢献する力〉	具体化した資質・能力 感じたことを自分なりの言葉にする力 伝え合うことで集団の考えを発展させる力 主体性・積極性・協調性 多様性を尊重する態度 未来を予測して計画を立てる力
中期取組目標	
○「チーム都田」として、組織的な学校運営を行い、「誰もが安心して・豊かに」生活できる学校づくりを目指します。 ・生徒の資質・能力の向上のため、生徒が主体的に活動する授業実践と個に応じた指導の充実に努めます。 ・生徒が自己有用感を高められるよう、多様性を尊重した人権教育や、様々な場面で生徒が主体となる活動を推進します。 ・生徒が安心安全な学校生活を送れるよう、丁寧な生徒理解と教育環境の整備に努めます。 ・生徒が地域の伝統文化を大切に、地域の一員として地域貢献できる意欲と態度を育てます。	

学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
生きて働く知	①「主体的で対話的な深い学び」に向けた授業改善に取り組む。②各観点の学習評価の充実に努める。③学習意欲を高める授業の実施や課題の提示に努め、家庭学習の充実に図る。
担当	学習指導部
学力向上に関わる本校の状況	(1)学力に関わる児童の実態 令和3年度の学校評価アンケートの中で生徒が「毎日家庭学習に取り組んでいる」とする割合は50%をきっていた。 令和3年度の横浜市の学習状況調査でも、学年による差はあるが、学習意識の向上が求められている。授業評価や研究授業などを通して、生徒の学習意識の向上を目指す必要がある。 【横浜市学力・学習状況調査のグラフ】
今年度の目標	生徒が自ら考えたくる授業づくりを目指して
目標を実現するための具体的行動プラン	学校全体で授業評価に取り組み、授業改善に努める。 国語：自分の意図や目的に応じて伝え合うことで、自分の考えを深めていく力を養う。 社会：関心を持ちやすい資料を提示し、情報を正しく読み取り、背景や要因を考えさせる。 数学：前回までの授業で学んだことを活かして課題解決の達成感から次の課題への意欲に繋げさせる。 理科：実験・観察の結果から何がわかるのか、考察の仕方を身につけさせていく。 音楽：様々な音楽を体験することにより、それぞれの音楽によさ・美しさをみつけさせる。 美術：強く表したいことを主題にしたり、根拠を持ってよさや美しさを考える活動を重視する。 保健：体力の向上に運動に取組み、技能の向上のための知識や思考判断を深める。 体育：日常生活に活かせる題材を授業で扱い、身のまわりとの関わりについて考えさせる。 英語：具体的なコミュニケーションの目的や場面を設定し、情報をやりとりさせる。 個別：発表や振り返りを通し、目標に向かってがんばることや考えを言語化する練習を積ませる。
上半期	
下半期	
(2)これまでの取組状況	・メンターチームと運動した研究授業の実施 ・評価に関する研修 ・授業評価の実施(今年度から)

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	①道徳の時間は年間指導計画に基づいて進めていく。対話的な学びを通して教材内容を自分事として主体的に考え、道徳的価値を自分のものとしてとらえられる授業を目指す。②職員の人権に対する意識を深めるため研修を実施し、生徒への対応や指導に繋げる。
担当	人権教育・道徳指導部
豊かな心に関わる本校の状況	(1)豊かな心にかかわる児童生徒の実態 (昨年度末の生徒への学校生活に関するアンケートより) 多くの生徒が学校生活が楽しいと思っている。その一方で、自ら言葉遣いが良くないと考えている生徒が多くなる状態が続いている。相手への思いやりが言葉遣いに表れるので、皆が安心して過ごせる言葉遣いを生徒と共に考えていく必要がある。 (2)これまでの学校の取組状況 ・昨年度、道徳研究授業を全学年で行った。 各学年のテーマ 1年生：思いやり、感謝 2年生：節度、節制 3年生：遵法精神、公德心 ・道徳の時間において、[自主、自律][向上心、個性の伸長][思いやり、感謝][相互理解、寛容]の学習の充実を図った。
今年度の目標	生徒一人ひとりを大切にした教育環境を整え、生徒が主体的に活動する態度を養う。
目標を実現するための具体的行動プラン	・道徳の授業において、対話的な学びを通して教材内容を自分事として主体的に考える授業ができるよう努める。 ・職員の人権に対する意識を高めるため研修を実施し、生徒への対応や指導に繋げる。 ・全体道徳として講師を招いて人権教室を行い、人権尊重、命の尊さ、国際理解に対する意識を高める。 ・道徳の授業において、内容項目[希望と勇気、確固と強い意志][相互理解、寛容][遵法精神、公德心][思いやり、感謝]の指導を充実させる。 ・委員会を中心とした挨拶運動を実施する。
上半期	
下半期	・道徳の授業において、対話的な学びを通して教材内容を自分事として主体的に考える授業ができるよう努める。 ・全体道徳として人権キャラバン(人権教室)を行い、人権に対する意識を高める。 ・道徳の授業において、内容項目[希望と勇気、確固と強い意志][相互理解、寛容][遵法精神、公德心][思いやり、感謝]の指導を充実させる。 ・地域と連携した体験的活動(小学校との地域清掃等)や職場体験の取組をできる範囲で実施する。

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健やかな体	①小中9年間を見通した体力の向上を目指す。②食育の充実を図る。③生徒が安心、安全に学校生活を送れるよう安全教育に努める。
担当	体力向上推進委員会
健やかな体に関わる本校の状況	・本校の生徒は、昼休みに多くの生徒が体育活動に意欲的に取り組み、休み時間も外遊びをして活発な生徒が多いが、運動を嫌う生徒も増えてきていると感じている。また、コロナ禍で運動制限などで体力の低下が見られ、思わぬ怪我が増えてきている。 ・昨年度から引き続き取り組んでいる朝食の重要性について説く活動のおかげで朝食の重要性を理解し実行している生徒が多くなってきている。
今年度の目標	生徒が安心・安全に教育活動に専念できる環境を作り、基礎的な体力の向上を図る。
目標を実現するための具体的行動プラン	・小中の連携を図り、生徒の実態を把握するとともに、体力テストのデータをもとに補っていくべき高める体力の運動種目を体育の授業の始まりに実施する。 ・保健委員会と連携し、朝食のなかでの「主食+1品」を継続して取り組んでいく。保健の授業では、朝食を摂ることでの体の働き等について指導を行っていく。
上半期	・職員研修の充実を図り、今一度教職員には危険予測義務と危険回避義務があることを周知し、職員の意識を高めながら生徒の安全指導を行う。
下半期	